

汚水処理原価の状況

汚水処理原価とは・・・

$$\text{汚水処理原価} = \frac{\text{汚水処理にかかった費用総額}}{\text{その年に処理した汚水量}} \\ \text{(汚水 } 1\text{m}^3\text{の処理にどのくらいかかっているか)}$$

汚水処理にかかった費用総額

施設の維持管理にかかった費用
(維持管理経費)

+

施設の減価償却費と借金の利息
(資本費)

登別市の汚水処理原価 (H26実績)

409,623千円 + 214,449千円

3,175,988^m

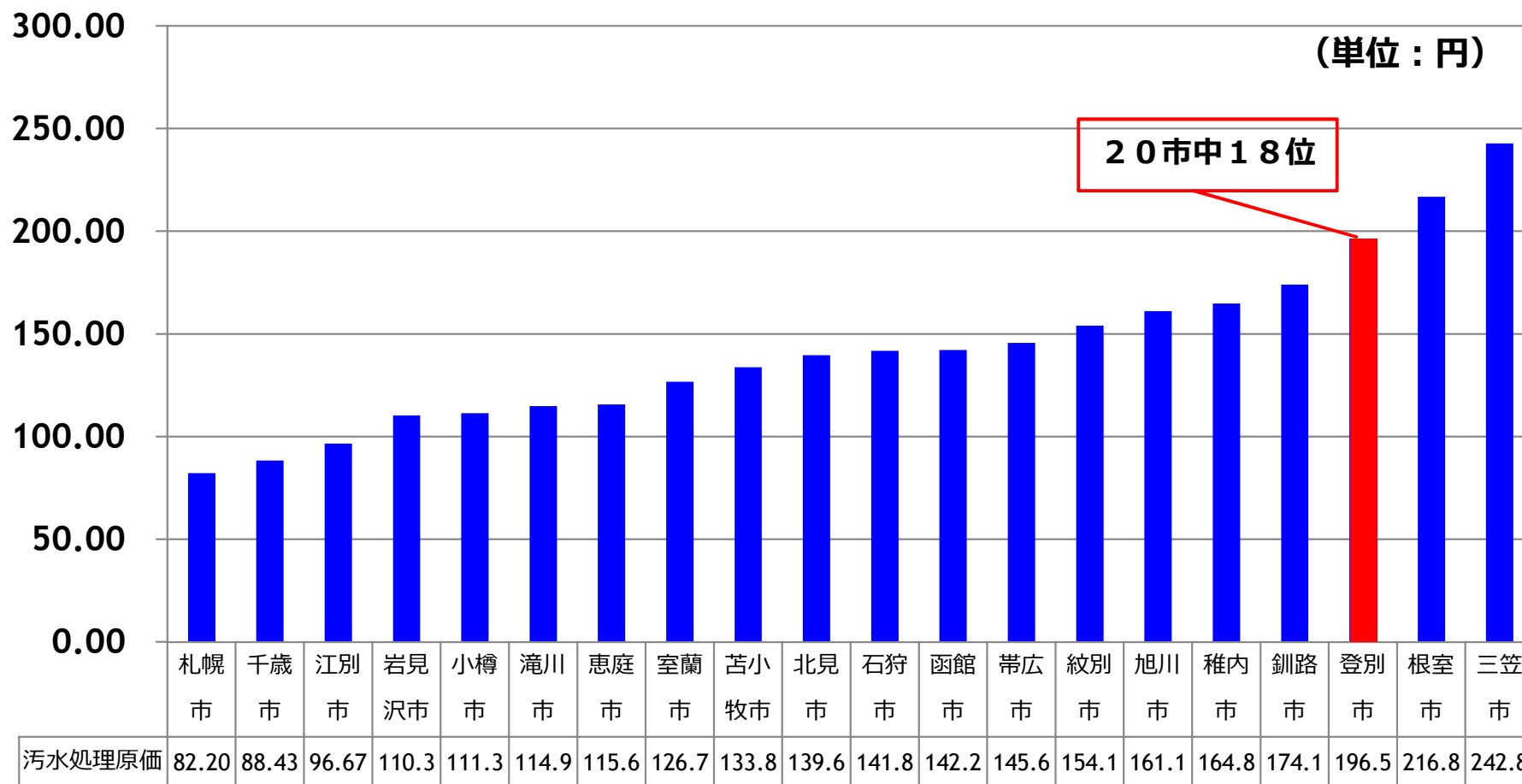
196.50円

128.97円

67.53円

汚水処理原価の状況

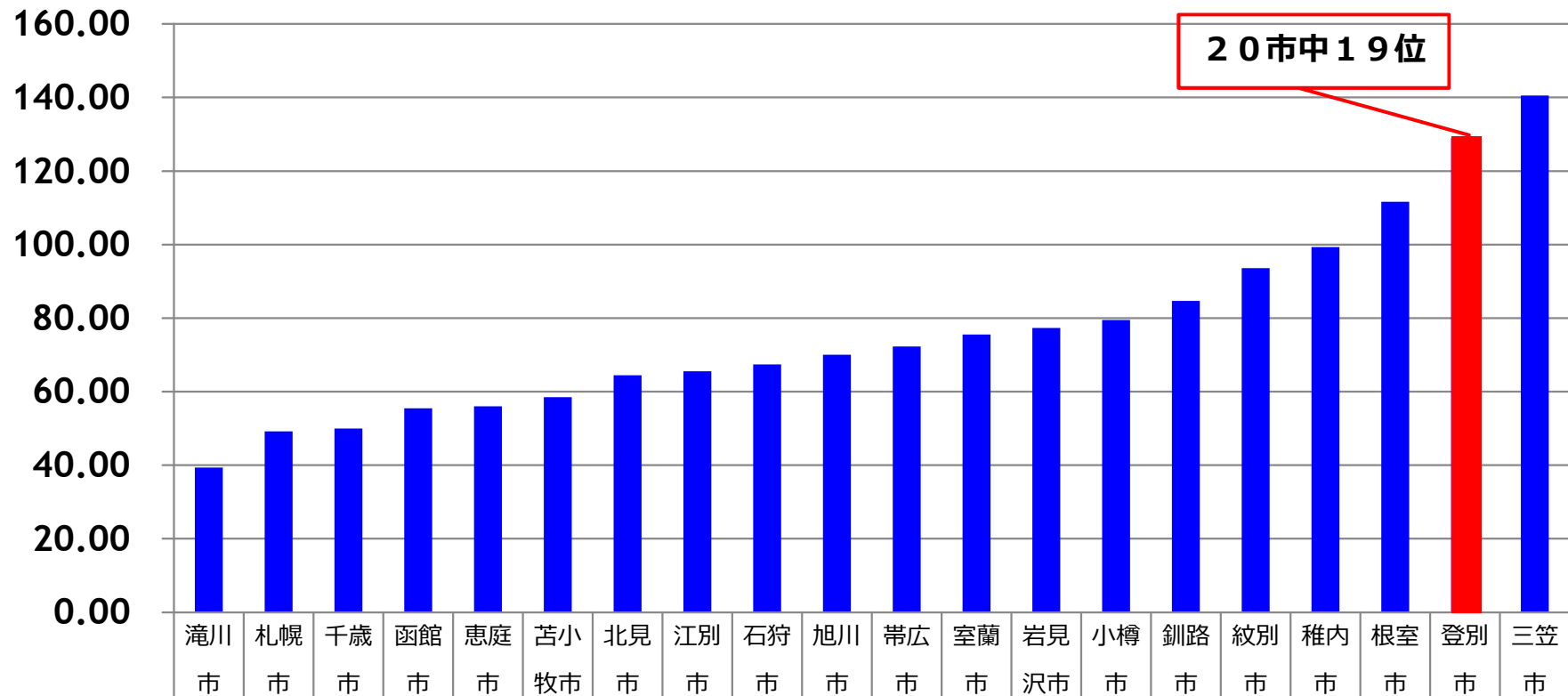
企業会計方式導入20市（H26年度決算）



污水处理原価（維持管理費分）の状況

企業会計方式導入20市（H26年度決算）

（単位：円）



20市中19位

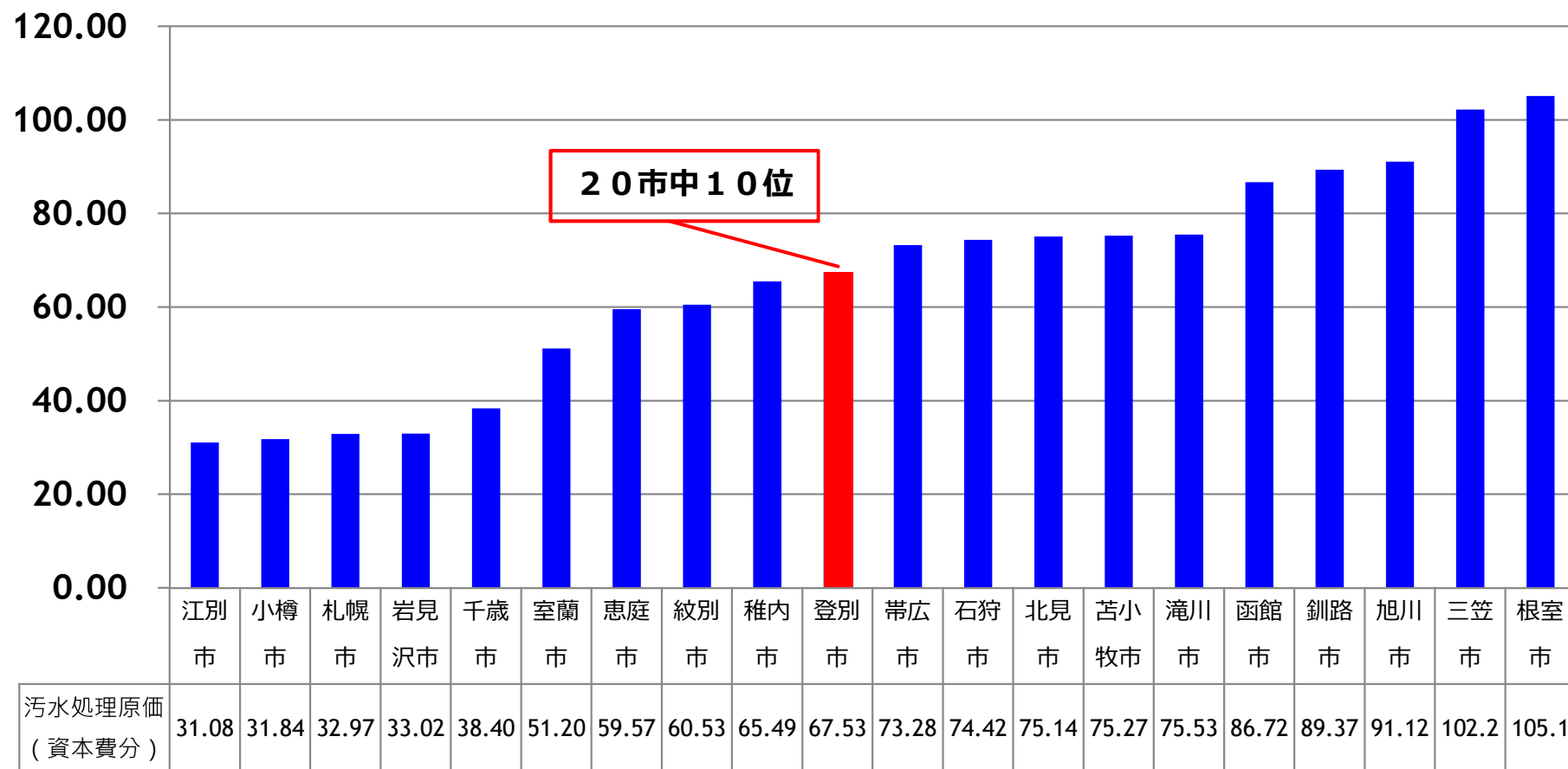
污水处理原価
（維持管理費分）

39.38	49.23	50.04	55.53	56.05	58.57	64.48	65.59	67.45	70.06	72.34	75.54	77.37	79.53	84.75	93.59	99.33	111.6	128.9	140.5
-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

污水处理原価（資本費分）の状況

企業会計方式導入20市（H26年度決算）

（単位：円）



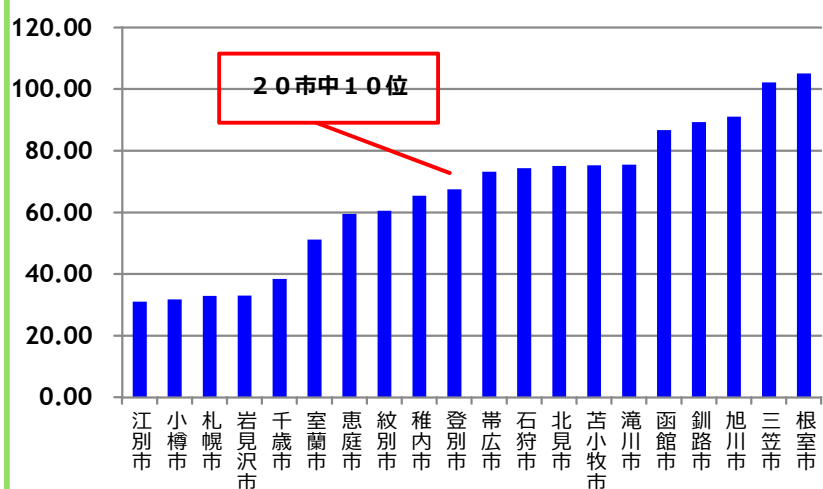


**(支出削減に向けた取組)
汚水処理原価の低減について**

支出削減に向けた取組「汚水処理原価の低減」

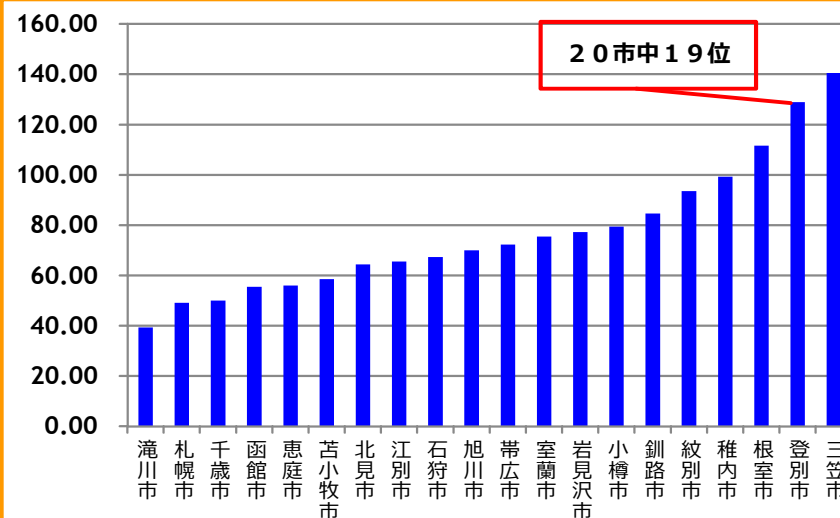
汚水処理原価（資本費分）

道内企業会計20市中10位



汚水処理原価（維持管理費分）

道内企業会計20市中19位



原価低減には維持管理費の圧縮に取り組む必要あり

支出削減に向けた取組「汚水処理原価の低減」

これまでの取組

- より効率性の高い曝気装置（※）への更新
※微生物を活性化するために汚水に空気を送り込む装置
- 汚泥減量化設備の設置（※）
※汚水処理後に発生する汚泥を少なくするための装置



現在の取組

外部コンサルタントに委託し、

- 維持管理費増嵩の原因の分析
- 曝気装置更新と減量化施設の効果額を検証

➡ 近々にも調査結果が明らかとなる予定

支出削減に向けた取組「汚水処理原価の低減」

これからの取組

調査結果を踏まえてH29年度中に以下の取組を検討

- 曝気装置更新の方向性
 - 汚泥減量化施設の効果を増幅するための取組
- ➡ 早ければH30年度の実施を目指す

効果額の試算

汚水処理原価（維持管理費分）128.9円

（5%削減を実現）

6.45円×3,213,372m³（汚水処理量） = 20,726千円

（3%削減を実現）

3.87円×3,213,372m³（汚水処理量） = 12,436千円

※汚水処理量はH27実績